

令和6年度 福生市立学校 学校経営方針

学校名 福生市立福生第一中学校

校長名 金子 敏 治

教育目標

これからの新しい時代に向けて、人と社会・自然環境等と協調しながら、生きる力を育む資質・能力を育成するため、次の目標を設定する。

- ◎ 自立（自ら考え、判断し、行動する。：「思考力・判断力・表現力」）
- 共生（誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を認め合う。：「人間関係形成力」）
- 貢献（ある事物や社会のために役立つように力を尽くす。：「課題解決力・実践力」）

1 目指す特色ある学校像

- ・ 全ての教育活動において、一人の生徒を大切にす理念が貫かれ、実行する学校
- ・ 生徒一人一人の主体性が発揮され、生徒の豊かな人間性を開花させることができる学校
- ・ 専門性の高い指導による良質な教育活動が提供され、生徒が学ぶ喜びを実感できる学校
- ・ 「ふるさと福生」に愛着と誇りをもち、活力を発信する学校

2 学校経営の目標

(1) 中期的目標

- ・ 夢と理想の実現に向け、生涯にわたって主体的に学び続ける生徒を育成する。
- ・ 自他のかけがえのない生命を尊重し、心豊かな生徒を育成する。
- ・ 心身ともに健康で、最後まで粘り強く取り組む生徒を育成する。
- ・ 家庭・地域・学校の信頼関係の上に、地域愛と誇りをもち、社会貢献できる生徒を育成する。
- ・ 教職員一人一人の専門性と集団としてのまとまりや組織力を高める。

(2) 本年度の目標

- ・ 各教科等における学びを他教科や日常生活、自らの将来と関連づけ、聞いて理解するだけの受動的な学びから、主体的に課題を設定し解決していく能動的な学びへの意識の向上を図る。
- ・ 「楽しい・分かる・できる」授業を実践し、確かな学力の向上と基礎・基本の定着を図るため、主体的・対話的で深い学びに向けた生徒の学習過程の改善及び教員の授業力向上に努める。
- ・ 人権教育の推進、道徳教育の充実を図り、生徒一人一人がかけがえのない存在であるとともに、違った個性や異なる価値観をもった他者であることを理解し、自他を尊重する態度を育てる。
- ・ 校内支援委員会を中心に組織的な特別支援教育を推進し、多様な個性に応じた指導と配慮ある支援を充実させ、生徒一人一人の自己実現を図る。
- ・ 「生徒指導提要」に基づく生徒理解、組織的な指導により、「いじめ」・「不登校」の未然防止、早期発見、早期対応等に取り組み、生徒が安全で安心した学校生活を送れるようにする。
- ・ 保健体育の授業や学校行事等を通して、生涯スポーツへの意識と、目標に対して粘り強く取り組む態度を育て、生徒の健康増進と体力向上を図る。
- ・ ふっさ文化の杜委員会（CS）を核として、家庭や地域社会と連携・協働を推進することで、愛校心や地域愛、社会貢献への意識を育成し、開かれた学校づくりを推進する。
- ・ 学習指導及び健全育成等が、義務教育9年間にわたり、系統的・継続的に行われるよう小中連携の充実を図る。
- ・ 校内分掌・研修の活性化を図るとともに、共通認識に基づく協働体制を確立し、円滑な組織運営を行う。

3 目標達成に向けての課題

- ・生涯にわたって主体的に学び続ける姿勢を育成するための生徒意識及び教員指導力の向上
- ・家庭・地域が学校に対する関心・理解を高めるための連携強化、開かれた学校づくりの推進
- ・働き方改革を踏まえた教育活動の精選と、組織体制の構築

4 経営の具体策

(1) 学力向上

- ・確かな学力の向上及び主体的・対話的で深い学びの実現に向け、学習カード等を活用し粘り強く取り組む姿勢や自己調整力を育成する。また、話し合い場面を設定し協働的な学習を推進する。
- ・基礎・基本の確実な定着を図るために、一人1台端末を始めとするICTを活用した個別最適な学習、体験的な学習、放課後学習・家庭学習等の充実を図る。
- ・校内研修で確かな学力の向上、及び、指導と評価の一体化に向けた更なる授業改善に取り組む。

(2) 健全育成（道徳教育、生活指導・進路指導）

- ・生命尊重の心、思いやりと感謝の心等を重点に配列した特別の教科道徳の「考え・議論する」授業実践を軸として、教育活動全体を通して豊かな人間性を育成する。
- ・いじめは絶対に許さないという共通認識のもと、未然防止、早期発見、早期対応等、学校いじめ対策委員会を毎週開催し、組織的対応及び関係機関との連携を図る。
- ・不登校対策推進委員を中心にスクールカウンセラーや関係諸機関との連携を緊密に図り、個別支援カルテを活用しながら、個に応じたきめ細かい対応を組織的に行う。
- ・生徒に寄り添いながら、自発的・主体的な成長を支える発達支持的指導の視点で、自ら考え責任をもって行動する指導、配慮のある指導を重視し、挨拶や時間等の生活習慣を身に付けさせる。
- ・キャリア教育で身に付ける4つの基礎的・汎用的能力を育むために、3年間を見通した系統的な指導を推進し、社会的・職業的自立に向けて指導を行う。

(3) 特色ある学校づくり（特別活動）

- ・主体性及び自治能力の育成を中核とした学級活動、生徒会活動、学校行事の企画・運営を行う。

(4) 健康・体力づくり

- ・体育健康教育推進校としての成果を継承し、学校教育全体で生涯にわたってスポーツへの興味・関心を高めたり、運動への親しみをもたせたりすることで生徒の体力向上を図る。

(5) 学校運営（特別支援教育を含む）

- ・ICT機器を活用した業務の効率化、会議時間の短縮を進め、計画的なOJT及び校内研修を行う。また、東京都教職員研修センター等の外部研修を活用し教員の指導力向上を図る。
- ・校内支援委員会において支援の必要な生徒の把握と関係機関等と連携した指導を推進する。
- ・不登校特例校7組の円滑な運営と教育活動の充実及び情報発信に努める。
- ・特別支援学級8組・9組と通常学級との生徒間交流を推進するとともに、教員間の出前授業等、支援・協力体制の構築を図り、インクルーシブ教育を推進する。

(6) 家庭・地域等との連携（信頼される学校）

- ・ふっさ文化の杜委員会を核とした地域関係機関との連携により、地域防災活動、ボランティア活動、講話等を協働推進し、愛校心や社会貢献の意識を育むとともに、より一層の信頼関係を構築する。
- ・一中学区の三校交流会や「ふっさっ子スタンダード」の活用等を通して、二小、三小と連携を図り、学力向上・生活指導・特別支援教育等に関する継続的な指導の実践を推進する。

5 年度末のチェックポイント

- (1) 授業アンケートの全授業で「先生の説明がよくわかる」の肯定的回答率90%以上。
- (2) 学校評価（生徒及び保護者）の各項目で、肯定的回答率が80%以上。
- (3) 「全国学力・学習状況調査」の結果で平均値以上。

